令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	50	事業No.	280		
事務事業名	文化財保護事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠		主	記号	計画等名称
	主要区分			
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
			名勝天龍峡保存管理計画	
	法令・例規等		文化財保護法・長野県文化財保護条例	
			飯田市文化財保護条例・同施行規則・飯田市文化財保護事業補助金交付要綱	
			文化財関連施設の設置条例及び規則	

事業目的		
	対象	地域資源（自然・文化・歴史）、指定文化財（遠山の霜月祭・名勝天龍峡等）、文化財関連施設
	意図	地域を特徴づける自然・歴史・文化資源を文化財に指定し、良好な状況で保ち後世に伝えるとともに、適切に活用することで、地域づくり人づくりに繋げます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	・地域を特徴づける地域資源について、価値を明確化する調査等を促進し、文化財指定を図る必要があります。 ・地域や各種団体と連携し、文化財の魅力を語ることのできる人づくりに向けた取組を進める必要があります。 ・指定文化財の保存継承に向け、関係部署と連携した支え手・担い手支援や、所有者等と協働した補助事業を実施する必要があります。 ・文化財関連施設を適切に管理し、地域での活用が進むよう機運を高めることが必要です。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・文化財候補の調査・指定や上位指定（国・県）を進めます。 ・文化財の魅力を語ることのできる人づくりを進めます。 ・名勝天龍峡ガイダンス施設を活用した見学会、魅力を知る探勝会の実施、地域と協働したパンフレットづくりを進めます。 ・公式サイトでの情報発信、学習会や見学会を実施します。 ・所有者等による文化財の保存継承の活動や災害復旧等を目的に文化財保護事業補助金を交付します。 ・「遠山の霜月祭」への補助や担い手・支え手支援を行います。 ・文化財関連施設の適切な維持管理に努めるとともに、所在地域での施設の利活用を支援します。 ・小笠原資料館、北田遺跡公園を指定管理とし、管理者と協働して公開・活用を進めます。	文化財資産化事業経費	261
	名勝天龍峡活用事業経費	946
	所有者等が行う保護事業への補助金	399
	文化財保護事業補助金(霜月祭り後継者育成)	560
	指定文化財・文化財関連施設等管理運営経費	7,825
	菱田春草生誕地公園管理業務委託経費	738
	会計年度任用職員	124
	旧小笠原家書院・小笠原資料館指定管理料（三穂まちづくり委員会）	2,416
	北田遺跡公園指定管理料（上久堅地区まちづくり委員会）	380
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
指定文化財の数	件		183	186	186	187		190	
名勝天龍峡に関わる学習会等の開催数	回							5	
指定文化財の学習会等の開催数	回							2	
指定文化財や文化財施設等の情報発信数	回	30	67	30	82	30		85	
遠山の霜月祭に関する学習会や支援回数	回	2	2	2	2	2		5	
地域における文化財や関連施設の活用数	回				35			37	
旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数	人		1,724		2,259			2,260	
北田遺跡公園を活用した地域イベントへの参加人数	人		870		1,070			1,100	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	13,649	（そ）財産収入　6千円 （そ）ふるさと寄附金　1,400千円 （そ）諸収入　151千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	1,557	
一般財源	12,092	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	12,566 0	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	959 0	文化財保護事業補助金
3	1	10	5	3	1	3	124 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								